

7.20 (月・祝) オープンキャンパス タイムスケジュール

学科等	イベント	会場	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00		
全学科	総合受付	E棟1F EVホール	9:20~15:00 随時 ※10:30~ コンビーフの販売をいたします。この機会にぜひ買い求めください。													
	大学概要説明	E棟1F 111講義室	9:35~													
食品科学科	学科紹介・入試説明 体験講義	E棟7F 一般化学実習室(2)	学科紹介・入試説明① 10:20~			体験講義 11:15~			学科紹介・入試説明② 12:50~							
	個別相談 研究室紹介	E棟6F 各研究室・ラウンジ	10:00~15:00 随時													
動物科学科	体験講義・体験実習 学科紹介・入試説明 ~The談会~卒業生に聞いてみよう!	【AM】E棟2F 大教室 【PM】E棟5F 実習室	体験講義 10:10~			学科紹介・入試説明① 11:00~			~The談会~卒業生に聞いてみよう! 11:50~			学科紹介・入試説明② 13:00~			体験実習 ※事前抽選(定員30名) イベント受付にて 要講証の提示が必要	
	個別相談 オープンラボ	E棟5F 各研究室・ラウンジ	10:00~15:00 随時 【オープンラボクイズラリーを開催します。オリジナルグッズもご用意しておりますので、ぜひご参加ください!】													
獣医保健 看護学科	学科紹介・入試説明 研究の魅力紹介 体験講義	E棟1F 111講義室	学科紹介・入試説明① 10:15~			研究の魅力紹介 by大学院生 11:15~			体験講義① 12:10~			学科紹介・入試説明② 13:00~		体験講義② 14:00~		
	体験プログラム 研究室ポスター展示	E棟4F 実習室	【Close UP the 実習!】獣医保健看護学科のたくさんの臨床実習の中からほんの一部を紹介します。体験ができるミニブースがありますのでぜひお越しください。													
	個別相談 学科ポスター展示	E棟4F ラウンジ	10:00~15:00 随時													
	学生キャンパスライフ紹介の上映	E棟4F ラウンジ内セミナー室	5月オープンキャンパスで大好評だった『学生キャンパスライフ紹介』を収録したものを上映します。 10:00~ 10:30~ 11:00~ 11:30~ 12:00~ 12:30~ 13:00~ 13:30~ 14:00~ 14:30~													
獣医学科	学科紹介・入試説明 体験講義 合格者体験談	B棟5階 511講義室 (サテライトは512講義室)	学科紹介・入試説明① 10:10~			体験講義① 11:20~			合格者体験談 12:10~			体験講義② 13:00~		学科紹介・入試説明② 13:50~		
	個別相談 研究室紹介	E棟5F 各研究室・ラウンジ	10:00~15:00 随時													
付属動物医療 センター	付属動物医療センター見学会	(受付場所)C棟 付属動物医療センター	夏の限定企画!! 付属動物医療センターを見学することができます。最先端の動物医療をぜひ体感してください。 10:00~12:00 随時受付						13:00~14:30 随時受付							
全学科	キャンパスツアー	(受付場所)E棟1F 会議室(2)	キャンパスツアー 11:00~12:00 随時受付						キャンパスツアー 13:00~14:30 随時受付							
	保護者対象説明会 (奨学金・就職)	E棟2F 中教室							奨学金制度について 13:00~			就職実績について 13:30~				
	図書館自由見学	図書館	10:00~15:00 随時 (14:30受付終了)													
	博物館自由見学	博物館	10:00~15:00 随時 (14:30受付終了)													
	休憩所	A棟1F 学生食堂	9:30~15:00 随時 【ランチの提供はありません】													

オンラインイベント

獣医保健 看護学科	学科紹介・入試説明	オンライン	学科紹介・入試説明① 10:15~						学科紹介・入試説明② 13:00~					
--------------	-----------	-------	----------------------	--	--	--	--	--	----------------------	--	--	--	--	--

体験講義・体験実習



獣医学科 体験講義①

『獣医寄生虫学とワンヘルス 一人・動物・環境をつなぐ感染症』

常盤 俊大 准教授 (病態獣医学部 獣医寄生虫学研究室)

かつて日本では、回虫症や日本住血吸虫症など、さまざまな寄生虫症が人々の健康問題となっていました。しかし、衛生環境の改善により、現在では人体寄生虫症は大きく減少し、医学部でも寄生虫学を詳しく学ぶ機会は少なくなっています。

その一方で、獣医学では現在も寄生虫学が重要な分野として扱われています。イヌやネコなどの伴侶動物、牛や豚などの産業動物、さらにはシカやイノシシなどの野生動物まで、多くの動物がさまざまな寄生虫を保有しているためです。また、その中には人にも感染する人獣共通感染症も含まれています。

近年では、野生動物の増加や地球環境の変化、人や動物の移動の拡大によって、寄生虫やそれを媒介するベクターの分布も変化しています。その結果、これまで見られなかった感染症が新たに問題となる例もみられています。こうした寄生虫感染症に対応するため、獣医師には動物の診療だけでなく、公衆衛生、野生動物、環境などを含めた幅広い視点が求められています。

本講義では、「ワンヘルス (One Health)」という考え方をもとに、人・動物・環境が感染症を通してどのようにつながっているのかを紹介します。実際の寄生虫や研究事例も交えながら、獣医寄生虫学の役割や、獣医師の仕事の広がりについて解説します。

獣医学科 体験講義②

『人間と同じ?違う?犬と猫の心臓病学体験編』

鈴木 亮平 講師 (獣医内科学研究室)

実は、犬にとって心臓病は非常に多くみられる身近な病気です。また猫の場合は症状が表に出にくく、気づかないうちに心臓病を抱えていることも少なくありません。高齢の犬や猫と暮らす家庭にとって、決して他人事ではない問題です。では、そんな動物たちの心臓病は、私たち人間の病気と同じなののでしょうか?それとも違うのでしょうか?この体験講義では、獣医学科に入学後、実際に学ぶ「獣医循環器病学」のエッセンスを抜粋し、犬と猫の心臓病の基本をやさしく解説します。大学での学びを、一足先に体験してみましよう。



獣医保健看護学科 体験講義①

『病気を調べる緑の下力持ち、病理検査ってなに?』

吉村 久志 准教授 (応用獣医保健看護学部 病理生理学研究分野)

愛玩動物看護師は、患者動物に直接かかわる臨床看護だけでなく、診療を陰で支える検査技術も担っています。

本体験講義では、その一つである病理検査の役割や、顕微鏡標本作製技術について紹介します。

獣医保健看護学科 体験講義②

『獣医保健看護学科のリアル体験!聴診×糖尿病ケアの1日』

森 昭博 准教授 (臨床獣医保健看護学部 代謝・栄養学研究分野)

獣医保健看護学科で行う身体検査実習の基礎を体験し、心音の聴き分けを説明します。あわせて、糖尿病動物の管理当番の一日を紹介し、獣医保健看護学科の学生が行う血糖管理や日常ケ

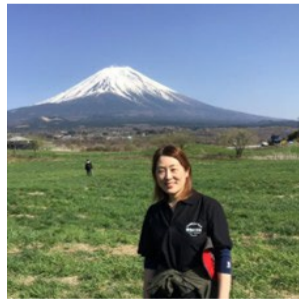


動物科学科 体験講義

『動物に配慮した実験方法の提案:実験動物学の紹介』

藤平 篤志 教授 (基盤動物科学部 実験動物学分野)

私たちの生活は動物たちに支えられています。食生活の豊かさは家畜のおかげであり、医薬品の開発には実験動物が不可欠です。人は動物から様々な恩恵を受けていますが、恩恵を受ける際には可能な限り動物に負担をかけないように努める必要があります。模擬講義では医薬品開発などで動物を用いて試験をする際に、できる限り動物への負担を軽減させた実験手法について考える「実験動物学」という学問領域を紹介いたします。この学問領域では英語のRから始まる3つの原則、「Reduction: 実験そのものや使用動物数を減らすこと、Replacement: 下等な生物や培養細胞へ置き換えること、Refinement: 技術の向上により苦痛を軽減させること」が3Rsとして認知されています。この3Rsを具体的に推進する研究、苦痛軽減に重要な麻酔法を最適化するための研究について紹介します。



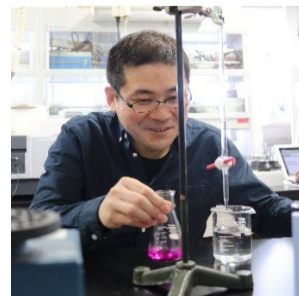
動物科学科 体験実習 ※事前抽選(定員30名)

『動物の行動観察方法を知ろう』

戸澤 あきつ 准教授 (基盤動物科学部 動物行動福祉学分野)

動物の行動を科学的データとして取得するためには、「動物をただ見るだけ」ではできません。行動を分類したり定義したり、データのとり方を決めたりすることでより客観的なデータの取得につながります。

動物の行動観察はどのように実施するのか、体験してみませんか?



食品科学科 体験講義

『小さな泡を使った食品の研究開発』

小林 史幸 准教授 (産業創生科学部 バイオプロセス工学分野)

食品における泡は、製パンの気泡構造、炭酸飲料の爽快感、アイスクリームの滑らかな食感など、食品の品質や嗜好性を左右する重要な要素です。近年では、これら従来の気泡に加え、ファインバブル、マイクロバブル、ウルトラファインバブル、ナノバブルなどと呼ばれる微細な気泡の食品分野へ活用が広がっています。この微細気泡は、気体の種類や生成条件によってその挙動や作用が異なるため、今後も食品分野での多様な利用が期待されます。この体験講義では、微細気泡が新たな食品開発にどのように使われているのか、本学で行っている研究を含めてお話しします。